

令和6年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	1 年	教科名	社会（地理的分野・歴史的分野）
教科担当	安慶田一貴、山城千尋		
教科書名	中学生の地理（帝国書院）、中学生の歴史（帝国書院）		
副 教 材	よくわかる社会の学習地理1、よくわかる社会の学習歴史1		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。 また、各教科の評価の観点から3観点としてシラバスに示してあります。 I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。 II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。 III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。 生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。	
---	--

1 （社会）科の目標と評価について

教科 目 標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
観 点 の 評 価	(1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。(知識・技能) (2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。(思考・判断・表現) (3)社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
方 法 評 価	ペーパーテスト、生徒の反応やワークシート、振り返り、作品等の評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的な評価を行う。

2 （社会）科の学習について

進 授 め 業 方 の	(1)授業は、プリントやノートで様々な課題を提示します。きれいにまとめられるようにしよう。 (2)単なる暗記ではなく、地図や統計資料、写真等から何が読み取れるかを考えよう。 (3)ICT機器を活用し、視覚的にわかるように授業を展開します。 (4)実社会と関連付けて、社会的事象に対する見方や考え方を育てます。 (5)探求型の学習をできるだけ取り入れ、お互いの意見や考えを交流させ、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。
テ ス ト 期	○教科書ならびに副教材を使用して学習した授業の内容などを中心に出题します。 ○テストに際しては、教科書の説明で使ったプリントやデジタルコンテンツなどについても出题することもあります。 ○統計資料や史料などを用いた「思考力・判断力・表現力」を問う問題を出题します。 ○「知識・技能」、「思考・判断・表現」の2つの観点に分けて出题します。 ○テスト範囲は、テストの約1週間前に連絡します。

3 年間指導計画（その①）

4月	単元名(題材名)	第1部 第1章 世界の姿		指導時数	4 時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度のしくみを理解したり、地図帳のさくいんや統計資料を活用したりしている。	国名や国旗、国境線の特徴から、その国の歴史や文化が分かることや、さまざまな種類の世界地図の特色を考察している。	地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究している。	
	評価方法	定期テストⅠ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅠ(6月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅠ(6月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	
4月	単元名(題材名)	第1部 第2章 日本の姿		指導時数	4 時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	世界の中での日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界の中での日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めたりすることができる。	世界の中での日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察している。	世界の中での日本の位置や広がりについて関心を持ち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅠ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅠ(6月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅠ(6月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	
5月	単元名(題材名)	第2部 第1章 人々の生活と環境		指導時数	8 時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。	世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察している。	世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心を持ち、主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅠ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅠ(6月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3・5・7時)	定期テストⅠ(6月)、ロイロノート課題(第2・4・6時)、振り返り(第8時)	生徒の反応(第8時)、振り返り(第8時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

6月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第1節 アジア州		指導時数	7時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解している。	アジア州の国々が急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結び付きなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。	急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題を、主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト(9月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3・5時)	単元テスト(9月)、ロイロノート課題(第2・4・6時)、振り返り(第7時)	生徒の反応(第7時)、振り返り(第7時)	
7月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第2節 ヨーロッパ州		指導時数	6時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	ヨーロッパ州の地域的特色を自然環境、文化、産業の特色に着目して大観し、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性を理解している。	国どうしや他地域との結び付きに着目して、EU統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。	日本との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト(9月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3・5時)	単元テスト(10月)、ロイロノート課題(第2・4時)、振り返り(第6時)	生徒の反応(第6時)、振り返り(第6時)	
9月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第3節 アフリカ州		指導時数	4時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	アフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解し、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との文化や経済的な関係を、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解している。	輸出品が特定の農産物や鉱産資源に偏るようになった原因を追究し、その問題点を多面的・多角的に考察している。	ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の地域的特色への関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト(9月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	単元テスト(10月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）

9月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第4節 北アメリカ州		指導時数	5時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解している。	北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子を基に、多面的・多角的に考察している。	世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト(9月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	単元テスト(10月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	
10月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第5節 南アメリカ州		指導時数	4時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた南アメリカ州の経済成長について理解するとともに、発展の一方で経済格差や環境破壊などの問題が生じていることを、本文や資料から調べ、まとめている。	ブラジルで経済成長が続いている要因と熱帯林の減少の背景を関連付けて考察し、その解決策を多面的・多角的に考察している。	近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発による環境問題について主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ(11月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ(11月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	
10月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第6節 オセアニア州		指導時数	3時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	オセアニア州の自然環境の特色と植民地支配されていた歴史を理解し、自然環境と結び付く産業や、多文化社会による移民と先住民との共生などの地域的特色を理解している。	オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深め、多文化社会を進めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。	オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ(11月)、ワークシートやロイロノート課題(第1時)	定期テストⅡ(11月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第3時)	生徒の反応(第3時)、振り返り(第3時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その④）

10月	単元名(題材名)	第1部 第1節 歴史の流れと時代区分		指導時数	3時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。	時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。	過去を継承しつつ、現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅢ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅢ(2月)、ワークシートやロイロノート課題(第1時)	定期テストⅢ(2月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第3時)	生徒の反応(第3時)、振り返り(第3時)	
11月	単元名(題材名)	第2部 第1章 第1節 人類の登場から文明の発生へ		指導時数	5時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	古代文明の特色を、巨大な遺跡と文字や暦の発達に着目して読み取るとともに、宗教が生まれてきた背景を古代文明の発達との関わりから理解し、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	古代文明が発生した理由を、農耕や牧畜の始まりと環境との関わりに着目して考察し、共通点に気付く事象を相互に関連付けるなどとして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	世界の古代文明や宗教のおこりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅢ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅢ(2月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅢ(2月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第5時)	生徒の反応(第5時)、振り返り(第5時)	
11月	単元名(題材名)	第2部 第1章 第2節 東アジアの中の倭(日本)		指導時数	4時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	日本列島における農耕の始まりと人々の生活の変化、ヤマト王権の勢力の拡大などを基に、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成されていったことを理解するとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	農耕の広まりや生産技術の発展に渡来人が果たした役割に着目し、人々の生活や社会に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどとして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	日本列島における国家形成について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅢ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅢ(2月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅢ(2月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑤）

12月	単元名(題材名)	第2部 第1章 第3節	中国にならった国家づくり	指導時数	5 時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	律令国家の確立に至るまでの過程を基に、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	東アジアとの接触や交流に伴う日本の政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	律令国家の形成について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅢ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅢ(2月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅢ(2月)、ロイロノート課題(第2・4時)、振り返り(第5時)	生徒の反応(第5時)、振り返り(第5時)	
12月	単元名(題材名)	第2部 第1章 第4節	展開する天皇・貴族の政治	指導時数	4 時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	平安時代は、藤原氏の皇室との姻戚関係や広大な荘園の所有を背景に摂関政治が展開され、政治の実権が天皇から貴族に移行していったことを理解しているとともに、平安時代の文化の特色を、諸資料から適切に読み取りまとめることができる。	平安京への遷都や密教の興隆、国風文化の形成に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	古代の文化と東アジアとの関わりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅢ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅢ(2月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅢ(2月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	
1月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第1節	武士の世の始まり	指導時数	5 時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	鎌倉幕府の成立により、主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広がったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	武士の政治への進出と政治の展開、貴族の政治との違いに着目して、武家政権の特徴を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、古代から中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	武家政権の成立とユーラシアの交流について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅢ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅢ(2月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅢ(2月)、ロイロノート課題(第2・4時)、振り返り(第5時)	生徒の反応(第5時)、振り返り(第5時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑥）

1月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第2節 武家政権の内と外		指導時数	4 時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	蒙古襲来が国内に及ぼした影響、南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などの知識を基に、武家政治が東アジア世界と密接な関わりを持ちながら展開していったことを理解し、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	蒙古襲来をモンゴル帝国の拡大の一環としてとらえるとともに、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	武家政治の展開と東アジアの動きについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト(3月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	単元テスト(3月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	
2月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第3節 人々の結び付きが強まる社会		指導時数	6 時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	農業など諸産業の発達、都市や農村における自治的なしくみの成立、多様な文化の形成、応仁の乱後の社会の変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	室町時代に農業や商工業が発達した理由や、民衆の成長が社会に与えた影響を、生産力の高まりと交通の発達に着目して考察し、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	民衆の成長と新たな文化の形成について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト(3月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3・5時)	単元テスト(3月)、ロイロノート課題(第2・4時)、振り返り(第6時)	生徒の反応(第6時)、振り返り(第6時)	
2月	単元名(題材名)	第2部 第3章 第1節 大航海によって結び付く世界		指導時数	3 時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	十字軍の遠征を通じたイスラム勢力との交流や、それに伴うローマ教皇の権威の衰えが近代ヨーロッパ世界の形成を促したこと、新航路の開拓とヨーロッパの人々の進出により世界の一体化が始まったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	植民地化や貿易の活発化、先住民の酷使やアフリカからの奴隷の連行に着目して、ヨーロッパの人々の進出が、アフリカやアメリカ、アジアに与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	鉄砲を複製し大量生産した日本の技術や、キリスト教伝来の際の人々の姿勢や考えについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト(3月)、ワークシートやロイロノート課題(第1時)	単元テスト(3月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第3時)	生徒の反応(第3時)、振り返り(第3時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑦）

3月	単元名(題材名)	第2部 第3章 第2節 戦乱から全国統一へ		指導時数	3時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	信長・秀吉による統一事業とその当時の対外関係、戦国大名や豪商などの生活・文化の特色などの知識を基に、中世社会の荘園制の崩壊と仏教勢力の衰退により、近世社会の基礎がつくられたことを理解し、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	統一政権の諸政策が中世社会から近世社会への変化を導き、日本の政治や文化に与えた影響を考察するとともに、海外貿易の許容とキリスト教の禁止という相反する政策に気付かせ、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	安土桃山時代に育まれた歌舞伎や茶の湯などの日本の伝統文化が、現代社会に受け継がれてきたことの意義について、主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト(3月)、ワークシートやロイロノート課題(第1時)	単元テスト(3月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第3時)	生徒の反応(第3時)、振り返り(第3時)	
3月	単元名(題材名)	第1部 第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた		指導時数	5時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心を持って、具体的なことがらとの関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	身近な地域の歴史や受け継がれてきた伝統・文化に対する関心をもち、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	ワークシートやロイロノート課題	ロイロノート課題、作品	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)、作品(第5時)	ロイロノート課題(第2時)	生徒の反応(第5時)、作品(第5時)	
	単元名(題材名)			指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)				
	評価方法				
	評価時期及び評価場面				

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

令和6年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	2年	教科名	社会（地理的分野・歴史的分野）
教科担当	森田英樹、山城千尋		
教科書名	中学生の地理（帝国書院）、中学生の歴史（帝国書院）		
副 教 材	よくわかる社会の学習地理2、よくわかる社会の学習歴史2・3		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。 また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。 I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。 II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。 III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。 生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 （社会）科の目標と評価について

教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを旨とする。 (1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価の観点	(1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。(知識・技能) (2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。(思考・判断・表現) (3)社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
評価方法	ペーパーテスト、生徒の反応やワークシート、振り返り、作品等の評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価を行う。

2 （社会）科の学習について

授業の進め方	(1)授業は、プリントやノートで様々な課題を提示します。きれいにまとめられるようにしましょう。 (2)単なる暗記ではなく、地図や統計資料、写真等から何が読み取れるかを考えよう。 (3)ICT機器を活用し、視覚的にわかるように授業を展開します。 (4)実社会と関連付けて、社会的事象に対する見方や考え方を育てます。 (5)探求型の学習をできるだけ取り入れ、お互いの意見や考えを交流させ、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。
定期テスト	○教科書ならびに副教材を使用して学習した授業の内容などを中心に出题します。 ○テストに際しては、教科書の説明で使ったプリントやデジタルコンテンツなどについても出题することもあります。 ○統計資料や史料などを用いた「思考力・判断力・表現力」を問う問題を出题します。 ○「知識・技能」、「思考・判断・表現」の2つの観点に分けて出题します。 ○テスト範囲は、テストの約1週間前に連絡します。

3 年間指導計画（その①）

4月	単元名（題材名）	第1章 身近な地域の調査		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的スキルを身に付けている。	地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。	地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅠ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅠ（6月）、ワークシートやロイロノート課題（第1・3時）	定期テストⅠ（6月）、ロイロノート課題（第2時）、振り返り（第4時）	生徒の反応（第4時）、振り返り（第4時）	
4.5月	単元名（題材名）	第2章 日本の地域的特色		指導時数	12
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解している。また、日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をするスキルを身に付けている。	「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。	日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅠ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅠ（6月）、ワークシートやロイロノート課題（第1・3・5・7・9・11時）	定期テストⅠ（6月）、ロイロノート課題（2・4・6・8・10・12時）、振り返り（第4時）	生徒の反応（第12時）、振り返り（第12時）	
5.6月	単元名（題材名）	九州地方		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	地図や資料から、九州地方の自然環境の特色やそれを生かした産業、自然災害や防災への取り組みを読み取り、九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色や、人々の生活や産業と自然環境とのかかわりについて理解している。	自然環境に注目しながら、九州地方に暮らす人々の生活と産業との関係について多面的・多角的に考察している。	九州地方の自然環境と生活、産業との関係について関心を持ち、九州地方の特色を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅠ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅠ（6月）、ワークシートやロイロノート課題（第1・3・4時）	定期テストⅠ（6月）、ロイロノート課題（第2・4・5時）、振り返り（第5時）	生徒の反応（第5時）、振り返り（第5時）	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

6.7月	単元名(題材名)	中国・四国地方		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結びつきを具体的にとらえ、他地域との結びつきに注目した視点で産業や生活の変化を理解している。	他地域との結びつきや産業の変容を、人や物の移動の量や方向から多面的・多角的に考察している。	中国・四国地方の歴史や地形、他地域との結びつきに関心をもち、それを主体的に追究している。	
	評価方法	定期テストⅠ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅠ(6月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅠ(6月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第5時)	生徒の反応(第5時)、振り返り(第5時)	
7月	単元名(題材名)	近畿地方		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	地図や資料から、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全について読み取り、環境保全に注目した視点から、近畿地方の地域的特色を理解している。	自然環境や歴史的景観の保全に注目しながら、そこに住む人々の生活や産業の変化などとの関係について、原因と対策、目的の面から多面的・多角的に考察している。	自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた近畿地方の地域的特色に関心をもち、自然環境や人々の生活、産業などと関連させながら、主体的に追究している。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ(11月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ(11月)、ロイロノート課題(第2・4時)、振り返り(第5時)	生徒の反応(第5時)、振り返り(第5時)	
9月	単元名(題材名)	中部地方		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	さまざまな資料を活用して、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取り、その地形や自然環境などにより異なる産業が発達したことを理解している。	中部地方の三つの地域において、さかんな産業に違いがある理由や、それぞれの産業が発達した理由について多面的・多角的に考察している。	産業の視点からみた中部地方の特色に関心をもち、自然環境や人々の生活と関連させながら、主体的に追究している。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ(11月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ(11月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第5時)	生徒の反応(第5時)、振り返り(第5時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）

9月	単元名（題材名）	関東地方		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	関東地方の地域的特色やそれと関連する事象とそこに生ずる課題について理解している。	関東地方における人口の集中が成立する条件を、地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。	地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目しながら、関東地方に暮らす人々の生活に監視をもち、地域的特色や地域の課題を意欲的に追求しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ（11月）、ワークシートやロイロノート課題（第1・3時）	定期テストⅡ（11月）、ロイロノート課題（第2時）、振り返り（第6時）	生徒の反応（第6時）、振り返り（第6時）	
9.10月	単元名（題材名）	東北地方		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	地図や写真・雨温図などから、東北地方の自然環境の特色や、伝統的な祭りや工芸品の特色を読み取り、東北地方の地域的特色について理解している。	東北地方の産業の発達を写真や地図・グラフなどを活用してとらえ、人々の生活の変化と、それにとまなう東北地方の産業の課題を多面的・多角的に考察している。	東北地方を伝統的な祭りや工芸品、町なみの特色など生活・文化の視点から、関心をもって主体的に追究している。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ（11月）、ワークシートやロイロノート課題（第1・3時）	定期テストⅡ（11月）、ロイロノート課題（第2時）、振り返り（第5時）	生徒の反応（第5時）、振り返り（第5時）	
10月	単元名（題材名）	北海道地方		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	地図や雨温図、統計資料などから北海道地方の地域的特色に関する情報を読み取り、北海道地方について、自然環境に注目した視点から地域的特色を理解している。	産業や開発の歴史に関する特色あることから注目して、自然環境や外国とのかかわりなどと関連づけて多面的・多角的に考察している。	自然環境に注目した視点から、自然環境・産業や都市の発展と変化などに関心をもち、北海道地方の特色を主体的に追究している。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ（11月）、ワークシートやロイロノート課題（第1・3時）	定期テストⅡ（11月）、ロイロノート課題（第2時）、振り返り（第5時）	生徒の反応（第5時）、振り返り（第5時）	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その④）

11月	単元名（題材名）	地域の在り方		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	地域の実態や課題解決のための取組を理解している。	地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ（11月）、ワークシートやロイロノート課題（第1・3時）	定期テストⅡ（11月）、ロイロノート課題（第3時）	生徒の反応（第3時）	
11月	単元名（題材名）	天下泰平の世の中		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	身分制と農村のようすをもとに、幕府と藩による支配が確立したこと、産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりをもとに、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ、都市や農村における生活、文化など近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	産業の発達と町人文化などについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅢ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅢ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅢ（2月）、ワークシートやロイロノート課題（第1・3時）	定期テストⅢ（2月）、ロイロノート課題（第2時）、振り返り（第4時）	生徒の反応（第4時）、振り返り（第4時）	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑤）

11.12月	単元名(題材名)	社会の変化と幕府の対策		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどをもとに、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	社会の変化と幕府の政策の変化に着目して、貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され、それらの背景として百姓一揆がおこったことや、社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	幕府政治の展開について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅢ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅢ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅢ(2月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅢ(2月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第3時)	生徒の反応(第3時)、振り返り(第3時)	
12月	単元名(題材名)	欧米諸国における「近代化」		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	欧米諸国における市民革命や産業革命をもとに、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへの進出したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、近代化の進展により欧米諸国の政治や社会がどのように変化したかを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	欧米における近代社会の成立について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅢ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅢ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅢ(2月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅢ(2月)、ロイロノート課題(第2・4時)、振り返り(第5時)	生徒の反応(第3・5時)、振り返り(第5時)	
12月	単元名(題材名)	開国と幕府の終わり		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	欧米諸国のアジア進出による中国の動き、日本の開国と貿易の開始による政治的、経済的、社会的な影響を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅢ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅢ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅢ(2月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅢ(2月)、ロイロノート課題(第4時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑥）

1月	単元名(題材名)	明治政府による「近代化」の始まり		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	富国強兵・殖産興業政策, 文明開化の風潮などをもとに, 明治維新によって近代国家の基礎が整えられて, 人々の生活が大きく変化したことを理解しているとともに, 諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	明治政府の諸改革の目的に着目して, 諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響, 明治維新について, 近世の政治や社会との違いに着目して, 近世から近代への転換のようすを考察したりするなど, 事象を相互に関連付けるなどして, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。	明治維新と近代国家の形成について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅢ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅢ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅢ(2月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅢ(2月)、ロイロノート課題(第3時)、振り返り(第3時)	生徒の反応(第3時)、振り返り(第3時)	
2月	単元名(題材名)	近代国家への歩み		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	自由民権運動, 大日本帝国憲法の制定をもとに, 立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに, 日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに, 諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	議会政治や政治の展開に着目して, 世界との関係や, 現代の政治とのつながりを考察するなど, 事象を相互に関連付けるなどして, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。	議会政治の始まりについて, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅢ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅢ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅢ(2月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅢ(2月)、ロイロノート課題(第4時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	
2月	単元名(題材名)	帝国主義と日本		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	条約改正, 日清・日露戦争などをもとに, 日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに, 諸資料からD259:I263歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	外交や戦争の展開に着目して, 世界との関係や現代の政治とのつながりを考察するなど, 事象を相互に関連付けるなどして, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。	国際社会との関わりについて, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅢ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅢ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅢ(2月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅢ(2月)、ロイロノート課題(第4時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑦）

2.3月	単元名(題材名)		アジアの強国の光と影		指導時数	3
	観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)		日本の産業革命とこの時期の国民生活の変化,学問・教育・科学・芸術の発展などをもとに,日本で近代産業が発達し,近代文化が形成されたことを理解しているとともに,諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	近代化がもたらした文化への影響に着目して,産業の発展が国民生活や文化に与えた影響を考察するなど,事象を相互に関連付けるなどして,近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し,表現している。	近代産業の発達と近代文化の形成について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法		定期テストⅢ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅢ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面		定期テストⅢ(2月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅢ(2月)、ロイロノート課題(第3時)、振り返り(第3時)	生徒の反応(第3時)、振り返り(第3時)	
	単元名(題材名)				指導時数	
	観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)					
	評価方法					
	評価時期及び評価場面					
	単元名(題材名)				指導時数	
	観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)					
	評価方法					
	評価時期及び評価場面					

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

令和6年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	3年	教科名	社会（歴史的分野・公民的分野）
教科担当	大浦誠、平安山大賀		
教科書名	中学生の歴史（帝国書院）、新しい社会公民（東京書籍）		
副教材	よくわかる社会の学習歴史2・3、よくわかる社会の学習公民		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。 また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。 I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。 II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。 III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。 生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。	
---	--

1 （社会）科の目標と評価について

教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価の観点	(1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。(知識・技能) (2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。(思考・判断・表現) (3)社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
評価方法	ペーパーテスト、生徒の反応やワークシート、振り返り、作品等の評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価を行う。

2 （社会）科の学習について

進授業方の	(1)授業は、プリントやノートで様々な課題を提示します。きれいにまとめられるようにしよう。 (2)単なる暗記ではなく、地図や統計資料、写真等から何が読み取れるかを考えよう。 (3)ICT機器を活用し、視覚的にわかるように授業を展開します。 (4)実社会と関連付けて、社会的事象に対する見方や考え方を育てます。 (5)探求型の学習をできるだけ取り入れ、お互いの意見や考えを交流させ、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。
テスト	○教科書ならびに副教材を使用して学習した授業の内容などを中心に出题します。 ○テストに際しては、教科書の説明で使ったプリントやデジタルコンテンツなどについても出题することもあります。 ○統計資料や史料などを用いた「思考力・判断力・表現力」を問う問題を出题します。 ○「知識・技能」、「思考・判断・表現」の2つの観点に分けて出题します。 ○テスト範囲は、テストの約1週間前に連絡します。

3 年間指導計画（その①）

4月	単元名(題材名)	二度の世界大戦と日本		指導時数	12
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、日本国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び日本の動きと大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。	戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと日本の関連などに着目して、事象の相互に関連付けるなどして近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	近代後半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそのこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。	
	評価方法	単元テスト及び定期テスト	単元を貫くシート 単元テスト及び定期テスト	単元を貫くシート 授業	
	評価時期及び評価場面	5月中旬 6月 ロイロノートでの課題	5月中旬 6月 ロイロノートでの課題	5月中旬 6月 ロイロノートでの課題	
5月	単元名(題材名)	現在に続く日本と世界		指導時数	10
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	冷戦、日本の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後のの諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められていることを理解する。	諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的多角的に考察し、表現している。	現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
	評価方法	単元テスト及び定期テスト	単元を貫くシート 単元テスト及び定期テスト	単元を貫くシート 授業	
	評価時期及び評価場面	5月中旬 6月 ロイロノートでの課題	5月中旬 6月 ロイロノートでの課題	5月中旬 6月 ロイロノートでの課題	
6、7月	単元名(題材名)	現代社会と私たち		指導時数	13
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	現代社会の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。対立と合意、効率と公正などについて理解している。	少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響と文化の検証と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。	現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
	評価方法	単元テスト及び定期テスト	単元を貫くシート 単元テスト及び定期テスト	単元を貫くシート 授業	
	評価時期及び評価場面	6月中旬 7月 ロイロノートでの課題	6月中旬 7月 ロイロノートでの課題	6月中旬 7月 ロイロノートでの課題	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

8、9月	単元名(題材名)	個人の尊重と日本国憲法		指導時数	16
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め法の意義を理解し、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。	個人の尊重と法の支配などに着目して、対話的な活動を通じ、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察、表現している。	人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
	評価方法	単元テスト及び定期テスト	単元を貫くシート 単元テスト及び定期テスト	単元を貫くシート 授業	
	評価時期及び評価場面	8月後半 9月 ロイロノートでの課題	8月後半 9月 ロイロノートでの課題	8月後半 9月 ロイロノートでの課題	
10、11月	単元名(題材名)	現代の民主政治		指導時数	23
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	国会を中心とする日本の民主政治の仕組みや政党の役割を理解し、議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方、法に基づく公正な裁判の保障について理解している。	個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、表現している。	民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
	評価方法	単元テスト及び定期テスト	単元を貫くシート 単元テスト及び定期テスト	単元を貫くシート 授業	
	評価時期及び評価場面	10月 11月前半 ロイロノートでの課題	10月 11月前半 ロイロノートでの課題	10月 11月前半 ロイロノートでの課題	
12・1月	単元名(題材名)	私たちの暮らしと経済		指導時数	24
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	身近な消費生活を中心に、経済活動の意義や市場経済における価格の決め方を理解する。現代の生産や金融の仕組みや勤労の権利と義務や労働基準法の精神を理解している。	分業と交換、希少性や着目して個人や企業の経済活動における役割と責任や社会生活における職業の意義と労働条件の改善について社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察、表現している。	市場の働きと経済の動きや、国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
	評価方法	単元テスト及び定期テスト	単元を貫くシート 単元テスト及び定期テスト	単元を貫くシート 授業	
	評価時期及び評価場面	11月中旬 12月・1月前半 ロイロノートでの課題	11月中旬 12月・1月前半 ロイロノートでの課題	11月中旬 12月・1月前半 ロイロノートでの課題	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）

2、3月	単元名(題材名)	地球社会と私たち		指導時数	14
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から国家間の相互の主権と尊重と協力及び、国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。	国際協調、持続可能な社会に着目して、日本国憲法の平和主義を基に日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察、表現している。	世界平和の実現と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
	評価方法	単元テスト及び定期テスト	単元を貫くシート 単元テスト及び定期テスト	単元を貫くシート 授業	
	評価時期及び評価場面	1月後半 2月・3月 ロイロノートでの課題	1月後半 2月・3月 ロイロノートでの課題	1月後半 2月・3月 ロイロノートでの課題	
単元名(題材名)			指導時数		
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
概ね満足な姿(B規準)					
評価方法					
評価時期及び評価場面					
単元名(題材名)			指導時数		
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
概ね満足な姿(B規準)					
評価方法					
評価時期及び評価場面					

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。